

過去の出題傾向について確認しておこう！

阪大入試研究[国語(人・外・法・経)]

▶ 出題一覧表

過去10年の大阪大学(人・外・法・経)の入学試験で出題された文章の出典を次の表にまとめた。

	Ⅰ 現代文	Ⅱ 現代文	Ⅲ 古文
2016	『反知性主義、その世界的文脈と日本人的特徴』 白井聡	『街場の戦争論』 内田樹	『庚子道の記』
2015	『クラシック魔の遊戯あるいは標題音楽の現象学』 許光俊	『大森荘蔵著作集第五巻』	『小島のすさみ』 二条良基
2014	『コトバ・言葉・ことば一文字と日本語を考える』 川田順造	『進化と人間行動』 長谷川寿一・長谷川真理子	『今昔物語集』
2013	『幸せのための経済学—効率と平衡の考え方』 蓼沼宏一	『神は数学者か？ 万能な数学について』 マリオ・リヴィオ著、千葉敏生訳	『今物語』
2012	『アフリカのことばと社会』 梶茂樹・砂野幸稔	『共生の作法』 井上達夫	『ささやき竹』
2011	『歴史と出会い、社会を見いだす』 佐藤健二	『マックス・ヴェーバー入門』 山之内靖	『帰家日記』 井上通女
2010	『「わたし」を探検する』 村田純一	『音楽のおしえ』 高橋悠治	『宇治拾遺物語』
2009	『ある自由主義者への手紙』 丸山眞男	『マンガは哲学する』 永井均	『俊頼髓脳』 源俊頼
2008	『混沌からの表現』 山崎正和	『場の思想』 清水博	『伊曾保物語』
2007	『考えるヒント』 小林秀雄	『生態的社会論・序説』 落合洋文	『百人一首一夕話』 尾崎雅嘉

▶ 分析と対策

【現代文】 本文の傾向は多岐に渡っており、様々なジャンルの評論を読みこなしたい。2016年度は出題されなかったが、例年出題されている200字程度の記述が鍵となるので、本文の趣旨を200字程度でまとめる演習が必須である。また短めの記述対策として、本文からただ抜き出すだけでなく、内容を理解して簡潔に表現する訓練も重ねたい。

【古文】 まずは単語・文法・和歌・古文常識等の知識を十分に身につけ、広く様々な作品を読むことが重要である。前後の文意を踏まえる設問が多く、指定形式に解答を収めることが必要な場合もあるので、過去問演習等で現代語訳や説明をまとめる練習に積極的に取り組んで欲しい。